

『気象庁各種警報』発令及び『南海トラフ地震』対応について

下田高等学校南伊豆分校

1 警報・注意報発令時

※警報・注意報の発令地区は伊豆南（居住地、南伊豆町又は通学経路にあたる市町）とする。発令の内容や地区の範囲によって、全員が自宅待機、又は一部が自宅待機の場合がある。

警報、注意報 市町の対応 警戒レベル	対 応		
	発令時	学校の対応等	生徒の行動
特別警報発令 (暴風・大雨・洪水等) 又は 暴風警報発令 又は 避難指示 警戒レベル4 以上	登校前	授業は行わず生徒は自宅待機する。または安全な場所に避難する。	・午前10時までに解除された場合は、安全を確認し直ちに登校する。ただし、伊豆急行、東海バスが不通の場合等、安全に登校することが心配される場合は学校連絡後に自宅待機し、運転再開及び安全が確認され次第、直ちに登校する。以降、運転が再開されない、又は安全に登校できない場合は出席停止扱いとする。 ・午前10時の時点で警報が解除されない場合は、休校(家庭学習)とする。
	登校後	原則として授業を中止し、生徒を下校させる。	・下校路の安全に留意し、下校する。 ・安全に下校することが困難な生徒は、保護者と連絡を取り適切な対応をする。
大雨、洪水等の警報 及び注意報発令 又は 警戒レベル3以下	登校前	原則として授業を行う。又は自宅待機を指示	・安全に登校できる生徒は登校する。ただし、伊豆急行、東海バスが不通の場合等、安全に登校することが心配される場合は学校へ連絡後自宅待機し、運転再開及び安全が確認され次第、直ちに登校する。以降、運転が再開されない、又は安全に登校できない場合は出席停止扱いとする。
	登校後	原則として授業を行う。	・気象情報や地域の実情、及び交通機関の運行状況を考慮し下校する場合もある。
大津波警報 発令 又は 津波警報発令	登校前	授業は行わず生徒は自宅待機する。または安全な場所に避難する。	・午前10時までに解除された場合は、安全を確認し直ちに登校する。ただし、伊豆急行、東海バスが不通の場合等、安全に登校することが心配される場合は学校へ連絡後自宅待機し、運転再開及び安全が確認され次第、直ちに登校する。以降、運転が再開されない、又は安全に登校できない場合は出席停止扱いとする。 ・午前10時の時点で警報が解除されない場合は、休校(家庭学習)とする。
	登校後	原則として授業を中止し、安全確認が行われるまで生徒は学校に待機する。	・安全に帰宅できることが確認されるまで学校に待機する。 ・安全に帰宅できる事が確認された後、保護者と協議した上で原則として保護者又は親類等で身元の明らかな者とともに帰宅する。
津波注意報	登校前	原則として授業を行う。	・地域の実情、及び交通機関の運行状況を考慮し自宅待機とする場合もある。
	登校後	原則として授業を行う。	・安全に登校できる生徒は登校する。地域の実情、及び交通機関の運行状況を考慮し下校する場合もある。 ・沿岸部での校外活動は中止する。

※台風襲来などで、特別警報発令(暴風・大雨・洪水等)・暴風警報・避難指示警戒レベル4が今後発令される可能性がある場合は、あらかじめ「マチコミ」にて対応を連絡する場合がある。

※登校前の警報等発令確認は午前6時以降とし、登校中の発令は上記対応「登校前」に準じ行動する。

2 「南海トラフ地震臨時情報」等発表時

状況		教育活動実施基準
地震	南伊豆町で震度4以下の地震が発生したとき	<登校前・登校時> ・通常授業、ただし状況に応じて休校 <在校時> ・通常授業、ただし状況に応じて授業中止
	南伊豆町で震度5弱以上の地震が発生したとき	<登校前・登校時> ・休校 <在校時> ・ただちに教育活動を中止
南海トラフ地震臨時情報	調査中	・原則通常授業
	巨大地震注意	・原則通常授業
	巨大地震警戒	<登校前・登校時> ・休校 <在校時> ・ただちに教育活動中止し、下校を開始する。
	調査終了	原則通常授業

○地震発生後の生徒の引渡し方法と待機

震度5弱以上	原則として学校に留め置く。安全が確認できれば、保護者に引き渡す。なお、引渡しは生徒自身の保護者(家族、親戚)に限り、友人の保護者と一緒に引き渡すということはない。
震度4以下	通常授業を行う。引き渡しの場合は、震度、周辺の被害状況を確認の上、下校させる。ただし、交通機関に混乱が生じて、保護者が帰宅困難になることが予想される場合は学校で待機させ、保護者の引き取りを待つ。